

10/20

認知症センター 専門職研修会を開催

認知症センター専門職研修会を医学教育改革推進センターと共に10月20日(月)に実施しました。

今回は、ケア技法であるユマニチュードの考案者であるイヴ・ジネスト氏、日本ユマニチュード学会代表理事

本田 美和子氏をお招きし、「優しさを届けるマルチモーダル・ケア技術：ユマニチュード」の講演テーマでご講演いただきました。お二人が北九州でご講演されるのは今回が初めてとのことで、北九州市認知症疾患医療センターとして、地域の専門職の方々に新しい情報発信を行えたことを大変うれしく思います。

認知症を患う方が増加するなか、病院において、身体的拘束や薬剤等での鎮静を行わざるを得ず、患者さん自身の尊厳を損ねてしまう現場は少なくありません。また、

そういったケアに対する患者さんの反応が、逆に医療従事者の負担につながってしまう場合もあります。今回の研修会では、様々な事例を基に、ケア技法ユマニチュードを取り入れることで患者さんに生じる変化や、ケアする方が意識すべきことについて丁寧に、そしてユニークにご紹介いただきました。ご講演の冒頭には、本田氏と旧知でいらっしゃる武内北九州市長からビデオメッセージを頂戴し、うれしいサプライズとなりました。

当日は、専門職対象の研修会ということもあり、18時という遅い時間の開始にもかかわらず、学内外から500名以上の方にご参加いただきました。業務が多忙のなかご参加いただき、厚くお礼申し上げます。今後も、学内外の方々と連携し、地域の認知症医療に尽力してまいります。

(認知症センター)

